

2015年12月21日

日 本 銀 行

# 月例経済報告等に関する 関係閣僚会議・資料

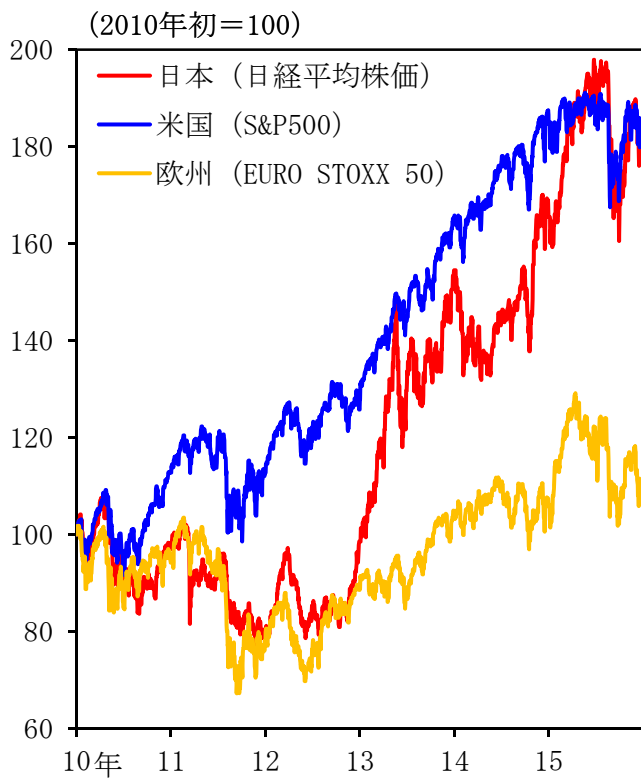
—— 最近の金融資本市場の動き ——

# 1. 株価

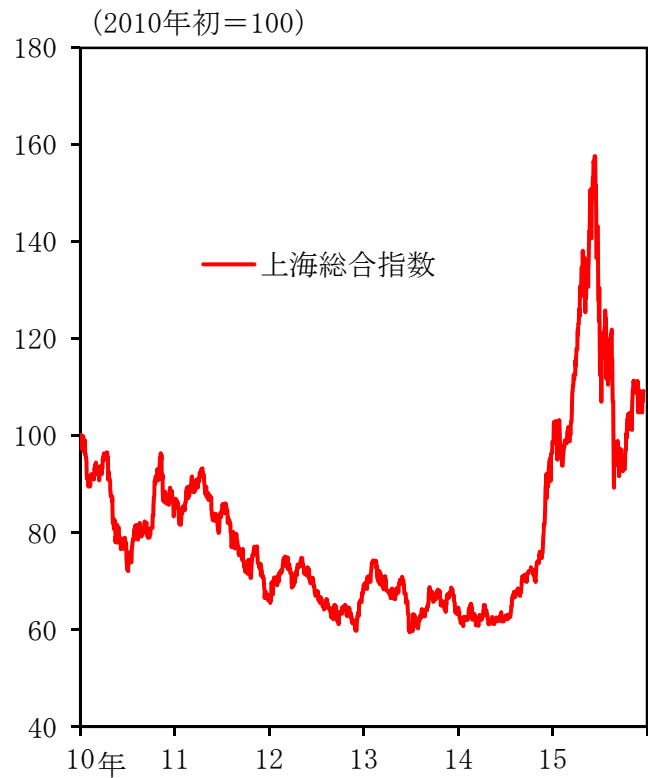
## (1) 日経平均株価



## (2) 主要国の株価

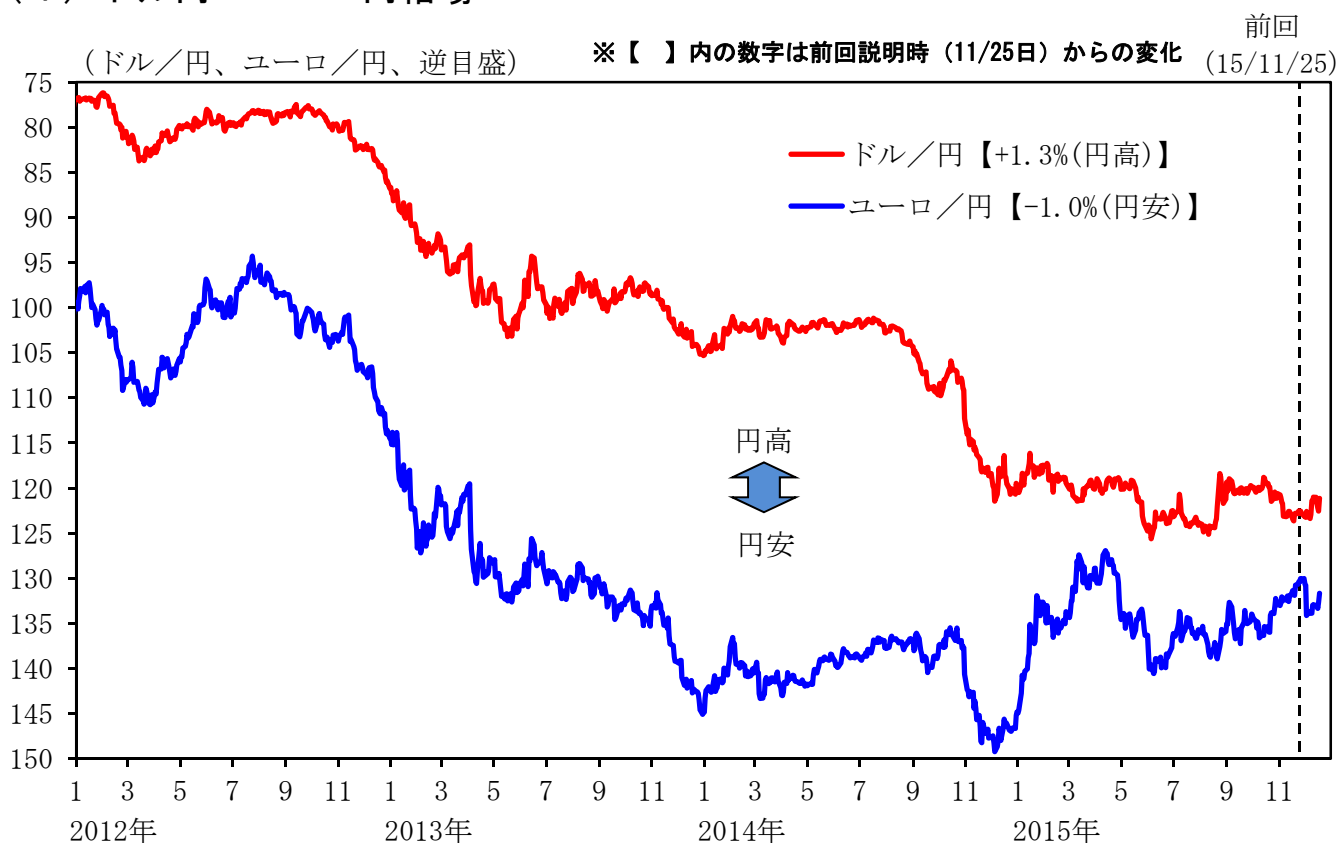


## (3) 中国の株価

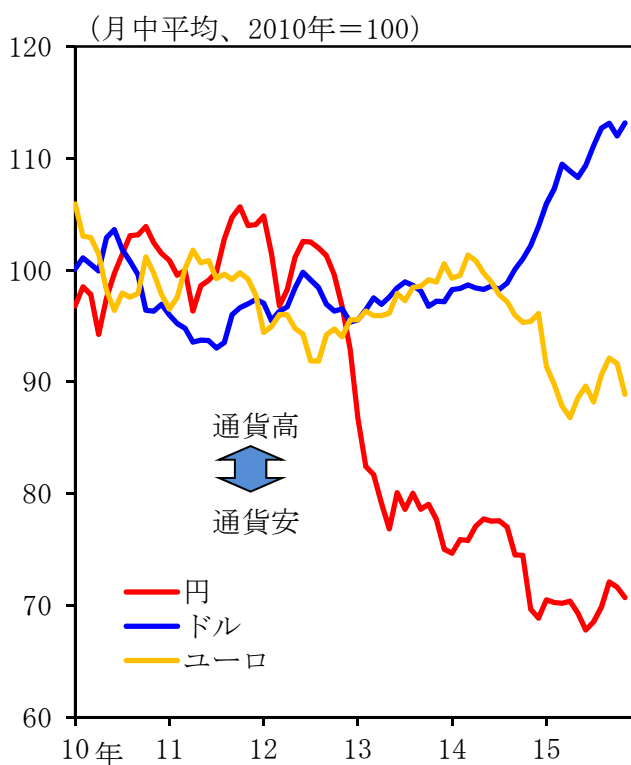


## 2. 為替相場

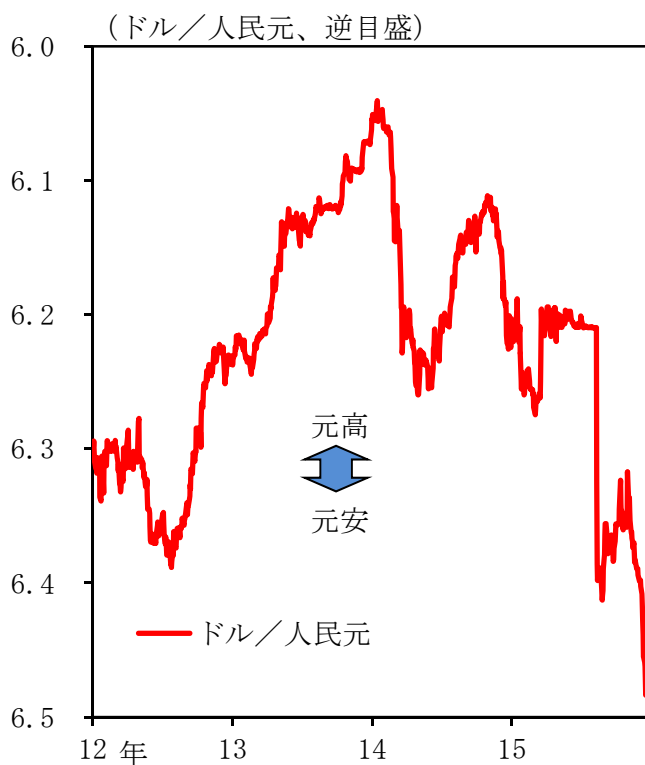
### (1) ドル円・ユーロ円相場



### (2) 実質実効為替レート



### (3) 人民元相場

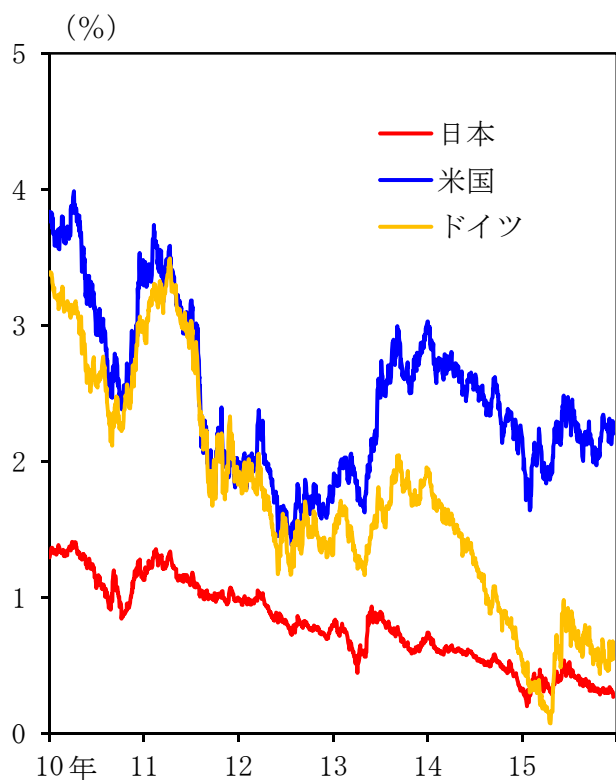


### 3. 長期金利

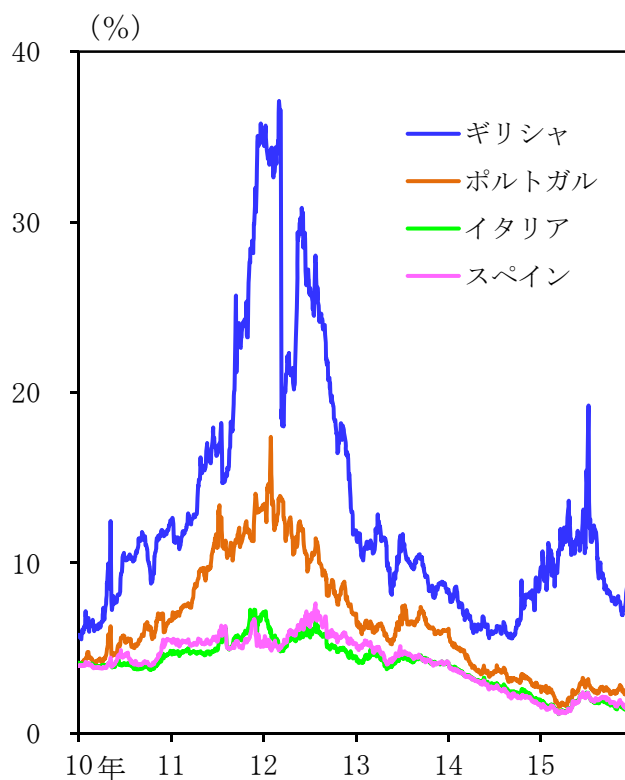
#### (1) 日本国債利回り



#### (2) 主要国の長期金利



#### (3) 欧州周縁国の長期金利



「量的・質的金融緩和」を補完するための諸措置の導入

## (1) 設備・人材投資に積極的な企業に対するサポート

### ① 新たなETF買入れ枠

<買入枠>

年間約 3,000 億円

( 既存分<年間約 3 兆円>  
とは別枠 )

<買入対象>

J P X 日経 400 連動型のほか、

施策の趣旨に合致する  
新規の E T F も対象

### ② 「成長基盤強化支援」の拡充

### ③ 「成長基盤強化支援」等の受付期間を 1 年間延長

## (2) 資産買入れの円滑な遂行のための諸措置

### ① 日本銀行からの貸付にかかる適格担保の拡充

住宅ローン債権などを適格化

国債を売却した  
金融機関の担保  
減少に対応。

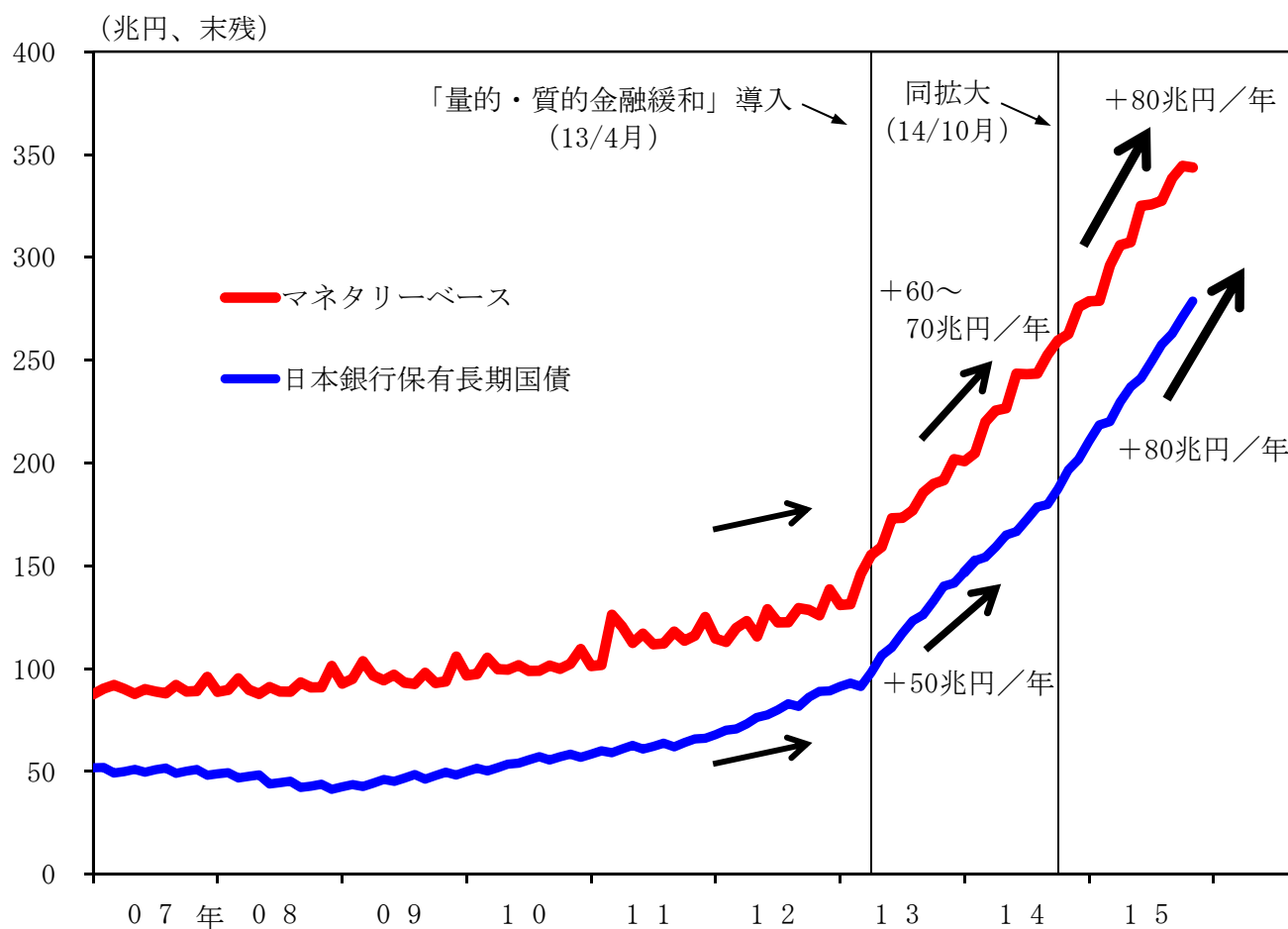
### ② 長期国債買入れの平均残存期間の長期化

「7年～10年程度」 → 「7年～12年程度」

より円滑・  
柔軟な買入れ  
を可能に。

### ③ J-R E I T の銘柄別買入限度額の引き上げ

## 参考1. マネタリーベースと長期国債保有残高の推移



(単位：兆円)

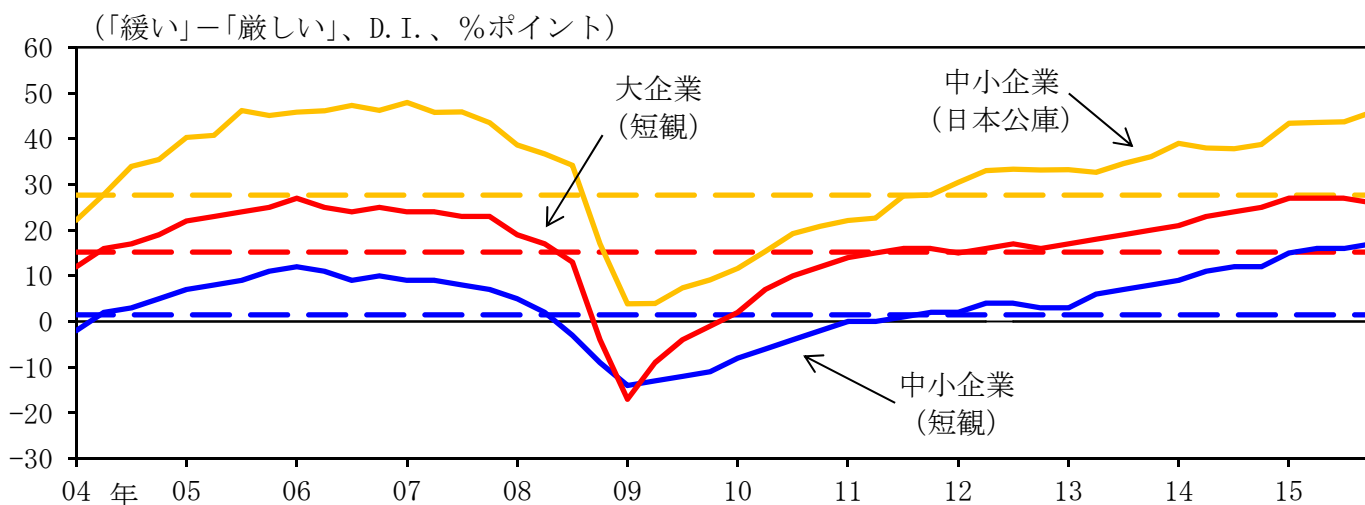
	12年末	13年末	14年末	15年11月末	今後の年間増加ペース
マネタリーベース	138	202	276	344	+約80兆円

(バランスシート項目の内訳)

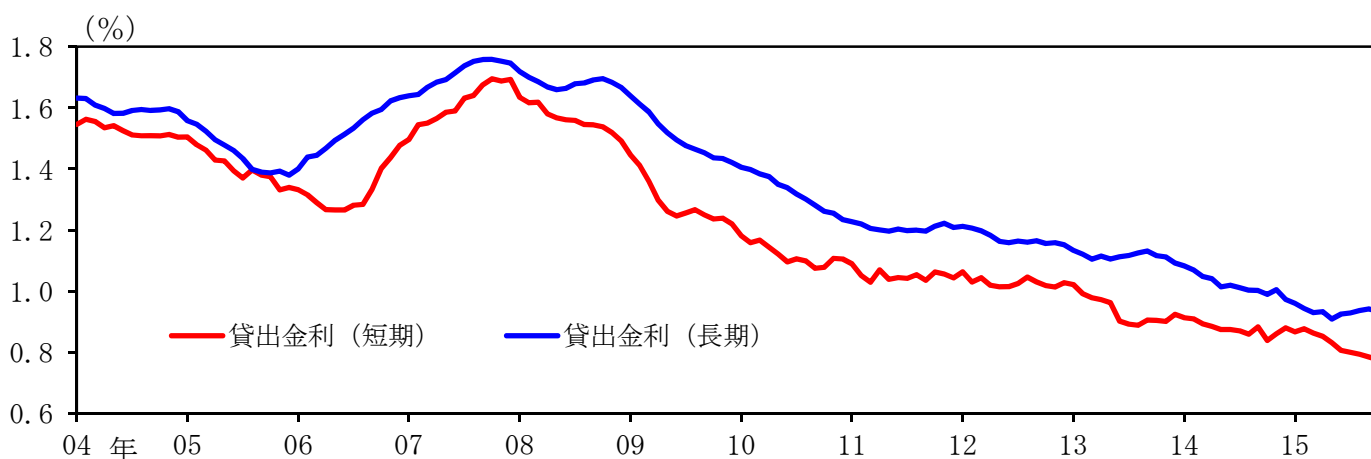
長期国債	89	142	202	279	+約80兆円
ETF	1.5	2.5	3.8	6.5	+約3兆円
J-REIT	0.11	0.14	0.18	0.26	+約900億円

## 参考2. 国内の金融環境

### (1) 企業からみた金融機関の貸出態度

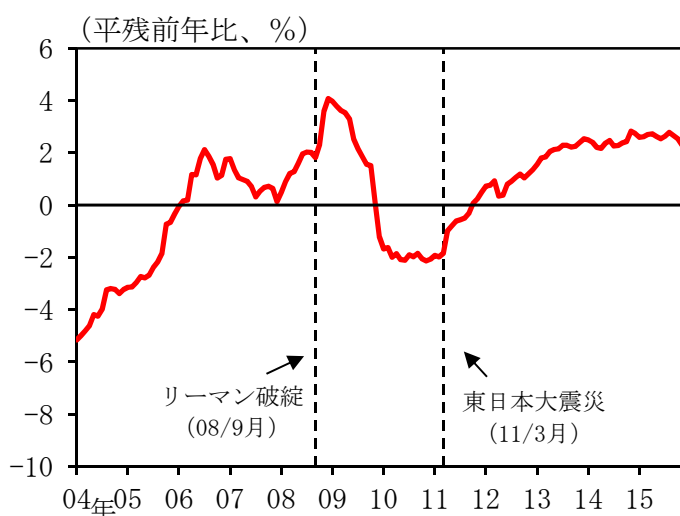


### (2) 貸出金利

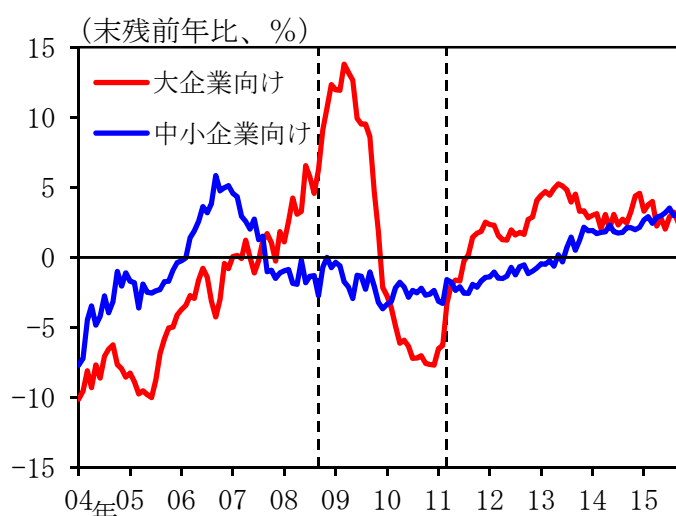


### (3) 貸出残高

#### ① 民間銀行貸出残高



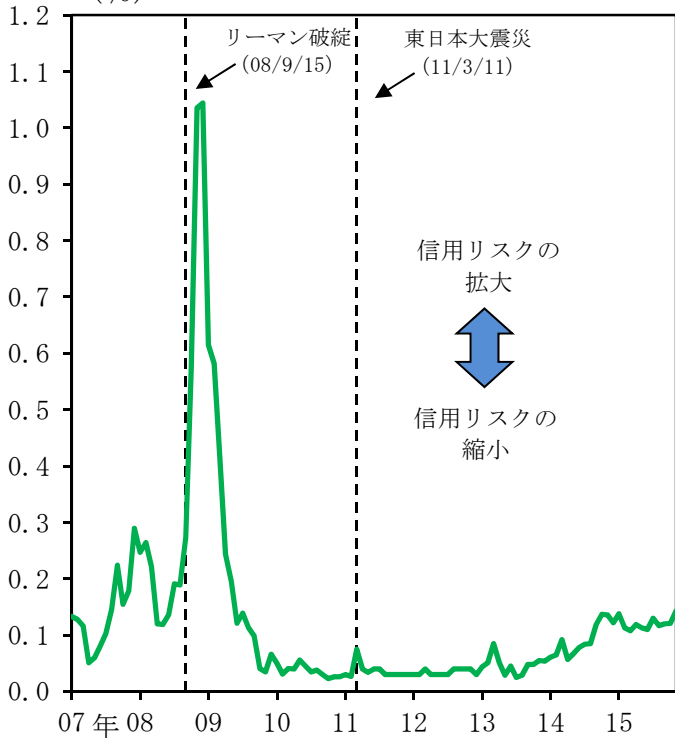
#### ② 企業向け貸出の内訳



- (注) 1. (1) の点線は、2000年以降の平均値。日本公庫のD.I.は「緩和」-「厳しい」。  
 なお、2015/4Qの日本公庫のD.I.は10~11月の値。  
 2. (2) は、貸出約定平均金利 (国内銀行、新規実行分) の後方6か月移動平均値。  
 3. (3) ①の貸出残高には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。

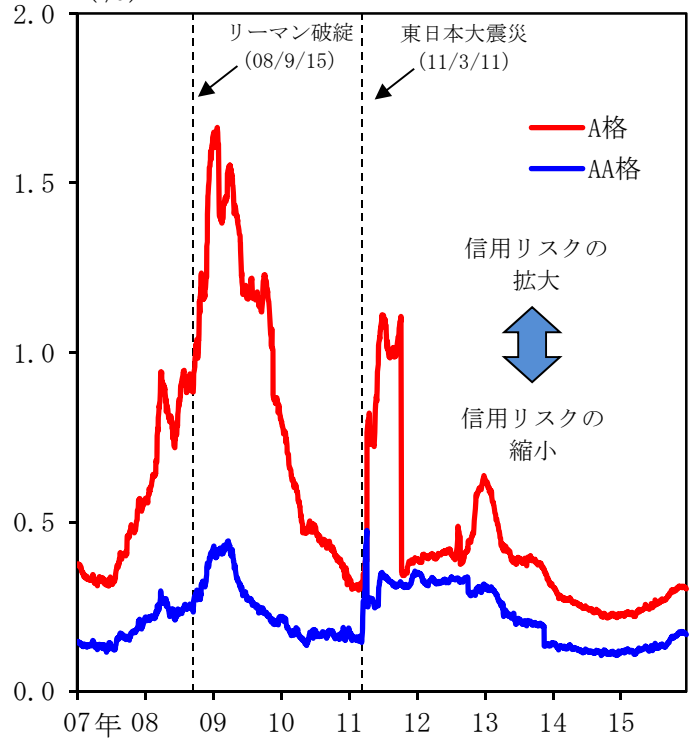
## 参考3. CP・社債市場の動向

(1) CP発行金利の対短国金利上乗せ幅 (%)



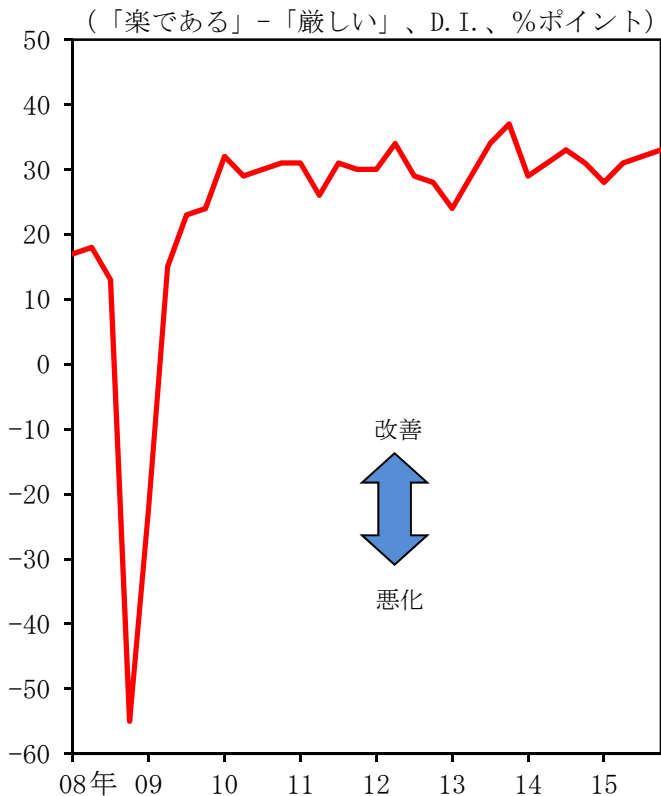
(注) CP発行金利(3か月物)と短国金利(3か月物)との差。  
09/9月以前はA1格以上、09/10月以降はA1格。

(2) 社債金利の対国債金利上乗せ幅 (%)



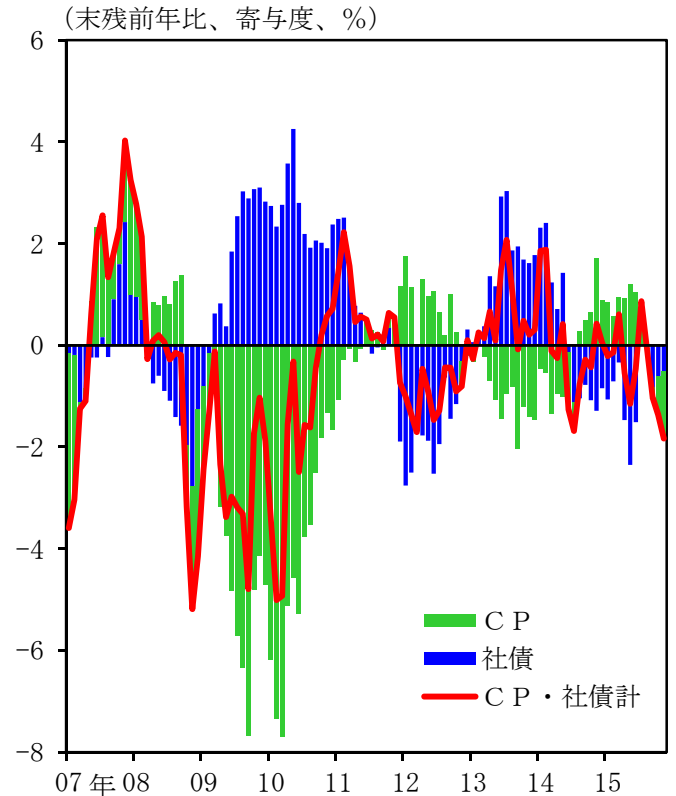
(注) 社債金利(残存3~7年)と国債金利(5年物)との差。  
格付はR&Iによる。

(3) CPの発行環境 (短観)



(注) 集計対象は、大企業のうちCP発行企業。

(4) CP・社債発行残高



(注) CPは、銀行、証券会社、外国会社等発行分を含まず、  
ABCPを含む。  
社債は、国内外で発行された普通社債(私募債を含む)  
であり、銀行発行分を含まない。